

箕輪町 議会だより

# みんなの議会



第75号  
2021.2.1



## 多世代交流拠点 「まじや」

国道153号沿いに9/30(水)、空き店舗を活用した交流施設「まじや」がオープン。

子どもや高齢者の居場所づくりを目的として、当面は小中高生が気軽に立ち寄れるよう放課後に開放。

今後は認知症カフェや子ども食堂、介護予防体操などのイベントも定期的で開催していく予定です。

- 議案審査 ……………P2～4
- 町政を問う ……………P5～19
- 「わが町の将来をかたる」…P20



議会ホームページ

箕輪町議会に対するアンケート調査報告は、ホームページに掲載してありますのでご覧ください。

# 議案審査

- 1** 条例制定の主なもの
- 4** 賛否が分かれた審議
- 2** 補正予算
- 5** 意見書の提出
- 3** 委員会審査の概要

## 1 条例制定の主なもの

**議会議員及び町長の選挙運動の公費負担を定める条例**  
公職選挙法の改正に伴い町議会議員・町長選挙費用のうち選挙運動用自動車に関わる費用、ビラ・ポスター作成費用は上限を定め公費負担が可能となります。

**一般職の職員・議会議員及び特別職の常勤の職員の期末手当を改定する条例**

人事院勧告を踏まえ一般職の職員の期末手当を減額。それに準じ議会議員及び特別職の常勤職員の期末手当を減額するものです。

**施設名称の変更に伴う条例**

「箕輪町農産物直売所にこりこ」を「箕輪町農産物直売所」に、「信州みのわのうさんぶつかこうじょ」を「箕輪町農産物加工施設」に、「交流施設ぷらぷら」を「箕輪町都市農村交流促進施設」に改めるものです。

## 2 補正予算

	事業名称	事業の概要	予算額
新型コロナウイルス感染症関連の主な対策	<b>診療・検査医療機関 応援交付金</b>	発熱患者等を対象にした外来体制をとる医療機関に対する支援	100万円
	<b>新型コロナウイルス 感染症対策 「飲食店危機突破」支援金</b>	飲食店 「新型コロナ対策推進宣言の店」 1店舗20万円、70店 (令和2年～令和3年3月1日まで)	1,400万円
	<b>町商工業振興資金 利子補助金</b>	町の制度融資の借入者に対する利子補給 (利子全額町負担 令和3年度以降)	2,900万円
	<b>県制度融資に対する 利子補助金</b>	県のコロナ対策制度融資に対する上乗せ助成 (2年間分の利子を補助 令和3年度以降)	3,000万円
	<b>外国人生活相談員</b>	新型コロナ感染症の影響により外国人相談が増加	40万円
	<b>関係人口創出施設 整備事業</b>	旧東部診療所を活用して 関係人口を創出するための 施設整備に係る経費	9,864万円
	<b>宿泊応援キャンペーン 助成金追加支援</b>	箕輪町内の宿泊施設にも3,000円割引で宿泊できるキャンペーンに対して助成の増	300万円
その他の予算	<b>若者世帯定住支援奨励金 等の増額</b>	若者世帯定住支援奨励金	2,000万円
		空き家改修費等補助金	250万円
	<b>障がい者福祉サービス 給付金</b>	障がい福祉サービス利用増に伴う給付費の増額	1億1,386万円
	<b>小中学校特別教室 空調設置</b>	小学校空調設置	8,279万円
		中学校空調設置	4,174万円
<b>体育館施設整備費</b>	箕輪町社会体育館の 耐震改修工事の増 (床下の束の補強) ※束とは床を支える短い柱	440万円	



### 3 委員会審査の概要

## 総務産業常任委員会

### ★令和2年度箕輪町一般会計補正予算(第10号)

**問** 新型コロナ経済対策・関係人口創出施設(旧東部診療所)改修工事の財源内訳は。

**答** 地方創生臨時交付金：6,400万円、地方債：3,000万円、一般財源：400万円を充当する。

**問** 備品購入費・可搬型給電器71万5,000円は、電気自動車所有者と災害協定等を結ばなければ充分に活用できないが、その検討はしているか。

**答** 日産のディーラーと協定を組むべく打合せをするようにしている。その後、将来的には個人所有者とも協定を組むよう順次進めて行く。

### ★箕輪町公の施設の指定管理者の指定

**問** 指定管理の中に小中学校給食への食材提供が入っているが、保育園への提供はないのか。

**答** 保育園を取外して外してはいない。先ず学校を優先している。

**問** みのわテラス農産物直売所はJA組合員以外の持ち込み不可とのことだが何故か。

**答** 食品の安全性を担保出来ない農産物直売所完成予想図の商品は販売出来ない。一方、適法に農薬使用、または無農薬生産者も居る。そうした方たちも取り込めるようオープンまでに固めていく。また、直売部会を作り販売希望者に参加して貰えるよう進めて行く。

### ★箕輪町公の施設の指定管理者の指定期間の変更及び指定管理者指定

**問** 新たな指定管理者に応募した事業者は法人ではないのか。

**答** 地方自治法で「法人またはその他団体」となっており、法人格だけでなく任意団体もその要件を備えている。定款もしっかりしているなどを鑑みて認めた。

### 現地確認

#### 箕輪町の町道認定について

●路線番号497  
起点:中箕輪10363番10先  
~終点:同13先  
延長57m:幅員5m



●路線番号498  
起点:中箕輪10215番12先  
~終点:同8先  
延長70m:幅員7m



12/9  
水

## 福祉文教常任委員会

### ★令和2年度箕輪町一般会計補正予算(第10号)

**問** 社会体育館の床下の束について建設年度はいつか。今まで使用して異変はなかったのか。

**答** 昭和62年建設で、33年経過。今まで床の異変は感じられなかった。改修工事で足場を床の上で作ることから床変形した床下の束を確認したところ、予想以上に束が変形、さらに補強をすることとなった。

**問** 診療・検査医療機関応援交付金の内容は。

**答** 11月から新型コロナの診療体制が変わり、診療とPCR検査まで行う医療機関1ヶ所に100万円を交付するもの。医療機関名の公表はできない。

**問** 学校教育でのネットトラブル相談業務委託料及びウェブフィルター導入業務委託料の詳細は。

**答** 学校教育でのネットトラブル相談委託については、実績もある「セーフティーネット総合研究所」に、パソコンからインターネットにつながる段階で、見に行つてはいけないサイトへの接続を禁止するフィルターを設定。

**問** 生徒の学業成績等が外部に流出しないか。

**答** 生徒の学習系のネットワークと教師の使う公務系のネットワークは完全に分離されているため安全。

### ★伊那中央衛生センターの全体更新

**問** 伊那中央衛生センター(汚水処理場)の経費負担が伊那市・南箕輪村に比べ、箕輪町の割合が高いのはなぜか。

**答** 町の農業集落排水の処理場を廃止したことにより持込量が多くなった。実績を根拠として算定した。

**問** 全体更新の理由は。

**答** 大規模改修よりも全体更新の方が効率的との結論。3年計画で工事を行う。

### 現地確認

#### ●社会体育館

・改修工事：吊り天井  
取り替えと床下補強



#### ●沢保育園

・芝生園庭及び  
給食室の視察  
・保育園業務システム  
利用状況



12/10  
水

## 4 賛否が分かれた審議

提案の趣旨	提出者	伊藤	岡田	青木	釜屋	唐澤	入杉	木村	松本	金澤	中澤	荻原	中村	寺平	小出	中澤	結果	
		隆	建二朗	俊夫	美春	敏	百合子	英雄	五郎	幸宣	千夏志	省三	政義	秀行	嶋文雄	清明		
箕輪町議会議員報酬及び費用弁償等に関する条例および箕輪町特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	箕輪町	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
<p><b>【反対討論】</b> 人事院勧告に従わなくとも地方交付税に影響がない、引き下げる根拠はない、若い方が議員になれる環境を整えるべき。景気回復・自治力・コミュニティ回復に逆行。地方議員が受け入れるべき勧告ではない。</p> <p><b>【賛成討論】</b> 職員の報酬を引き下げる案が出ている。議員だけが据え置きは住民の理解が得られない。議員のなり手不足の要因は報酬だけの問題ではない。民間の方と同じ痛みを議員も分かち合うべき。</p>																		
箕輪町一般職の職員の給与に関する条例及び箕輪町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について	箕輪町	○	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
<p><b>【反対討論】</b> 期末手当も生活費、手取りが減れば景気は一層悪化する。子育て世帯の負担増、少子化への影響も発生する。公職現場こそ収入保障して景気対策とすべき。反対する事こそ自治体労働者への激励になる。</p>																		
令和2年度箕輪町一般会計補正予算(第10号)に関する修正動議 コロナ関連交付金の使途を、施設改修などのハード事業から住民生活や業者への事業支援に改めるよう再検討を図るもの	提出者：岡田建二朗 賛成者：松本 五郎	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
<p><b>【反対討論】</b> 関係人口創出を目的とするなら東部診療所ではなく空き家や空き店舗の利活用を選択すべき。国もデジタル化に舵を切った。町の将来のために地方創生臨時交付金を活用した拠点、サテライトオフィスは必要。関係人口創出事業はアフターコロナに向け必要な事業。後年度に借金を残す地方債に振り替えることはやめるべき。</p> <p><b>【賛成討論】</b> 毎日の食費で困っている相談者が大勢おり、町民に不安と失望が広がっている。コロナ危機で困っている町民の切実な声を踏まえ、雇用と生活を守るために自粛と補償の一体的な実現のために慎重な姿勢でコロナ禍に向かっていく事が重要な課題では。</p>																		
令和2年度箕輪町一般会計補正予算(第10号)	箕輪町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	可決
<p><b>【反対討論】</b> 期末手当の減額について、人事院勧告拒否と見える形で表現する事こそが地域と職員のモチベーションを引き上げるメッセージになる。人事院勧告に従う事で官と民の労働者を分断させ際限のない低賃金構造に町を導く恐れがある。地域経済を回す原資の蛇口を自ら締めて本当によいのか。</p>																		
核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書	提出者：岡田建二朗 賛成者：松本 五郎	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	否決
<p><b>【反対討論】</b> 核兵器保有国こそが批准すべきであり、日本も含め外交努力すべきである。日本は世界で唯一の被爆国として国連総会で23年間にわたり核兵器の全面廃絶に向けた共同行動決議を提出し核不拡散に取り組んできたが、この条約にはそれが盛り込まれていない。日本は今後締結国会議にオブザーバーとして参加すべき。</p> <p><b>【賛成討論】</b> 「日本国民の願いは被爆国である日本政府が条約に調印する事で核兵器のない世界に向けてリーダーシップをとる事」と長崎県生協理事は訴えている。核の傘に守られるという状況下、米軍駐留経費負担増の要求が今も続いている、平和外交に向けて舵を切ってほしいという国民要求が署名の意味では。</p>																		
75歳以上の医療費窓口負担2割化の見直しを求める意見書	提出者：松本 五郎 賛成者：岡田建二朗	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	否決
<p><b>【反対討論】</b> 75歳以上の高齢者が2025年に最高に達する時、医療費も大幅に増えることが予想される。財源をどこに求めるのか、若い世代の負担を少しでも軽くするためのものでやむを得ないと考える。激変緩和策も講じられている。持続可能な社会保障制度のために必要な改正。</p> <p><b>【賛成討論】</b> 強者の論理ではないかと危惧。医師会は「社会保障への優しさが全く感じられない」という意見を会長が表明、憲法第25条は国は社会福祉、社会保障、公衆衛生の向上及び増進に努めなければならないと規定。政府の政策は逆行。負担は現役比6倍化の情報も、コロナ禍の今議論すべき時ではない。</p>																		

備考 ☞ 議長は原則として採決に加わらない。○=賛成 ×=反対

☞ 詳細に関しては箕輪町議会ホームページで、後日議事録を閲覧することができます。

箕輪町議会

検索

## 5 意見書の提出

可決された意見書	財産区議会議員選挙での供託金制度の適用を除外することを求める意見書
	種苗法「改正」の説明を求める意見書
	医療機関・介護事業所への緊急財政支援を求める意見書
	安心・安全の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書
	国土強靱化対策の推進を求める意見書
上伊那伊北地域の高校再編に関する意見書 [退席：岡田・唐澤・松本]	

ここが聞きたい

# 町政を問う



## 源波古墳 (げんなみこふん)

今から千数百年ほど前、日本の各地で大きな墓をつくるのが流行し、この大きな墓は「古墳」と呼ばれました。古墳時代の四百年間は日本で統一国家が生み出されていく時代でもあったのです。

長岡の台地上にも多数の古墳がつけられ、それらは長岡古墳群と呼ばれています。この源波古墳もその中の一つです。古墳は箕輪ダム記念公園事業の一貫として長岡区のグラウンドをこの地に造成するために発掘調査し、移転復元しました。発掘調査によって、直刀、馬具、玉類等多数の副葬品が出土しています。これらの出土品を見ると、当時かなりの勢力をもった豪族がこの地に居住していたことが考えられます。又、数々の素晴らしい副葬品は中央(奈良の都)との交流が密であったことを裏付けています。

一般質問は  
だれでも自由に  
傍聴できます

一般質問は、年4回の定例会(3月、6月、9月、12月)で、町政全般にわたり町長その他の執行機関に対し、自由な質問内容を開会日の翌日正午までに議長に通告することとしています。議員一人の質問制限時間は55分で、一問一答方式を採用しています。12月議会では、12月7・8日の2日間に、14人の議員が質問しました。

### 主な質問

### 議員

### ページ

大正大学生の提案をどう生かすか	入杉百合子	6
コロナによる町内企業への支援策	伊藤 隆	7
子どもの頃から「みのわ愛」の醸成を	金澤 幸宣	8
気候非常事態宣言と方針を	中澤千夏志	9
全国に先がけて20人規模学級を	松本 五郎	10
コロナ禍での新年度予算編成方針	小出嶋文雄	11
直売所の名称とオープン時期は	荻原 省三	12
第5次振興計画の評価と今後は	釜屋 美春	13
町の施策、事業の成果とは	青木 俊夫	14
コロナ禍での業者支援の拡充を	岡田建二郎	15
新型コロナウイルスの感染対策は	中村 政義	16
看多機利用者の負担軽減措置を	木村 英雄	17
長期化するコロナ禍への対応を	唐澤 敏	18
新型コロナ感染者の人権どう守る	寺平 秀行	19

## 議会活動日誌

令和2年10〜12月までの  
議会活動の一部を紹介します

10月	1・19・23・29日 全員協議会
11月	5日 区長会との意見交換会 9・16日 オンラインによる議員研修 交換会 11日 箕輪町の皆さんとの意見 交換会 16日 全員協議会 17日 福祉文教常任委員会 18日 箕輪町料飲組合との 意見交換会
12月	30日 12月定例会初日 18日 議会運営委員会 14日 12月定例会 14日 全員協議会 14日 財産区について助言・支援・ 指導をすることを求める要 望書の提出 16日 議会活動活性化委員会 議会広報特別委員会

# 大正大学生の提案を どう生かすか

精査しながら施策に反映したい

入杉 百合子 議員



一般質問

**問** 自転車利用の町づくりについて箕輪町をテーマに調査研究した大正大学の学生による「地域実習」の成果報告を今後どう施策にいかすか。

**町長** 観光や体験の他、健康づくりとしての自転車の活用の提案

を頂いた。マウンテンバイクやeバイクの活用、町内の山林内を走る林道の活用、自転車によるコロナ禍での運動不足の解消など、2人の学生から具体的な内容の提案を頂いた。町としても実施可能かを精査しながら、施策の中に反映したい。

**問** みのわテラスの指定管理者に自転車を利した事業として、町が整備する自転車の貸し出しを含むとあるが、どのような利用を想定しているのか。

**町長** ママチャリ型の電動アシスト自転車は一般の方でも使いやすい

く、乗りやすいので、いろんな場面で活用できる。今後は本格的なマウンテンバイクやeバイクを想定しているところではあるが、価格など検討して十分な配備をしていきたい。

## みのちゃんバスの運行の検討を

**問** みのちゃんバスのコロナ対応は。また障がい者や、一人暮らしの高齢者のため土・日曜日の運行を加えるべきでは。

日の運行の需要はないとみている。土日などをデマンドにするなど方策としてはあり得ると思うので、地域に適した交通システムを検討する。

**町長** コロナ対応はしっかりやっている。日中の活動に利用できないという指摘はそのとおりだが、障がい者や高齢者への調査では、買い物を除けば土



コロナ対応をしたみのちゃんバス

**問** 町の障がい者雇用の現況と今後の採用予定の計画は。

**総務課長** 障がい者の方は、身体が3人、精神が3人で雇用率は3%を超えている。今後5年間の計画を進める中で、伊那養護学校の生徒も採用を検討をしている。

## 町の障がい者雇用の実態は

その他の質問

●ふるさと大使の現況と今後の活用は



伊藤 隆 議員

# コロナによる 町内企業への支援策

## 早期に検討するよう考えている



拡幅工事中的もみじ湖への県道

### 一般質問

**町長** 県の企業局が小水力発電を建設していることに伴って2ヶ所を実施している。今回の状況を踏まえて、現

**問** 箕輪ダムへ通じる県道の一部区間の道路改良が始まったようだがその後の改良や駐車場などの必要箇所があると思うが、どのような計画があるのか。

**町長** 赤そばの里やもみじ湖など豊かな自然を持って数万人以上の

**問** 大勢の方が当町の観光地を訪れるようになってきている。町内の娯楽施設と合わせた一連の観光のアイデアを出すべきでは。

地を確認して実施していききたい。

### 町観光振興について

**問** 第3波の感染が広がって客足が止まり、売上減少の中で宿泊や飲食業への支援は多く、物販業への支援は少ないという声が多く聞こえる。今こそ町では何とか支援策を打たないとこの先大変なことになると思われるが。

**町長** 12月になり大変なことになっている。第3波になり宿泊・交通・小売・飲食・サービスの多くが影響を受けて、危機的な部分も感じている。単に補償をする意味合いはこの時期に適当ではないが、早期に検討したいと考える。

**問** 町商工会では2月よりクレジットカードの準備を進めている。初期費用が一千万円余かかるとのことだが町からの補助金などどのような考えなのか。

### キヤッシュレスでの町補助について

**町長** 新しいカードシステムを入れることは、中小企業にグッドニュースだと思う。担当課で検討し、実施対応させてもらう。

観光客を集めることが出来る観光スポットが実際あるので飲食や宿泊・土産などへつなげていくことが必要だと思う。

### その他の質問

- にこりこ・たべりこ・そば加工所にあった町所有の什器や備品等の処分について
- 地域支援スタッフについて



金澤 幸宣 議員

# 子どもの頃から 「みのわ愛」の醸成を 地域ぐるみの関わりが大切な要件

一般質問

**問** 箕輪中の一年生は、箕輪町の地図が描けるか。

**教育長** 正しく描ける一年生は少ないと思う。

**問** 郷土の知識、我が町への愛着を若年時より育むために「みのわ愛」の醸成を「ふるさと箕輪学」のカリキュラムに追加しては。

**当町の行政改革の進捗状況は。**

**問** 実施済または、検討中事案は。

**町長** 必要に応じ職員的能力開発、組織の見直し、ICT化に伴う事務の効率化、生産性向上を実施。押印廃止は、一次調査で1133様式中736

**教育長** 地域の子どもたちと我が子のように日常的に関わって行くことが「みのわ愛」を醸成する大切な要件。



箕輪町がもっと好きになるお宝本

枚が廃止可能。ガイドラインを作成し、4月1日より本格実施。

**問** 「火葬場使用許可証」発行の簡素化のその後の進捗は。

**住民課長** 三つの選択肢があるが、現時点では難しい。他団体の事例を参考に引き続き調査検討を行う。

**問** 役場エントランスホールに箕輪町の「ジオリマ」常設を。

**町長** ひとつのアイデア。箕輪町を改めて知って貰う必要な手段と思う。方法論、地形の学習手段含め教育委員会と相談したい。

**観光資源の  
利活用を**

**問** もみじ湖等、来訪観光客の町への経済効果策は。

**町長** 地域の想い、観光化への是非等を総合的に勘案して新たな案しみを創造・検討したい。

末広のもみじのトンネル



**コロナ禍の諸行事中止によるマ  
イナス影響は**

**問** 児童・生徒の諸行事中止、自粛による情緒面でのマイナス影響は。また、年少児童はコロナ禍の非日常をどう認識しているか。

**教育長** 保護者、教職員にもメンタル面のマイナス影響はある。感染リスクを最小限に抑え、主体的・創造的に創り上げ達成感や充実感をもたせた。年少児童にとつては、既にウィズコロナ生活を前向きに捉え総意工夫して取組んでいる。

その他の質問

● 狩猟の鉛銃弾について

● 財産区議会議員選挙について

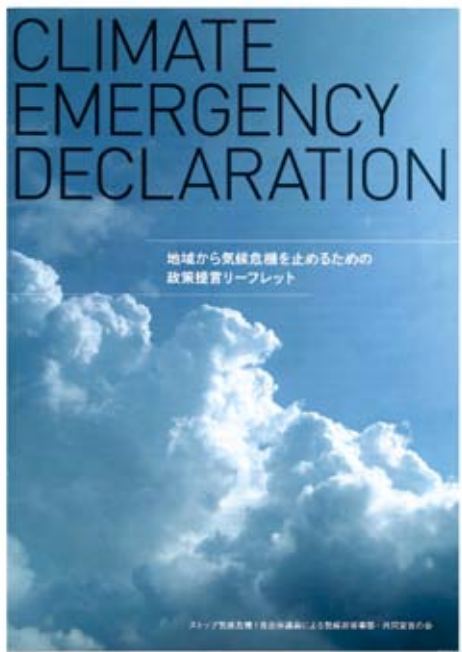




中澤 千夏志 議員

# 気候非常事態宣言と方針を

方向性を明らかにしていきたい



ストップ気候危機！自治体議員による気候非常事態宣言・共同宣言の会政策提言リーフレット



気候危機宣言自治体と議会

一般質問

**問** 県の「気候非常事態宣言」及び「長野県気候危機突破方針」への評価は。森林のCO<sub>2</sub>吸収固定機能の復元を柱に町は「宣言と方針」を。

**町長** 県の「気候非常事態宣言」と「決意」に対し、町は令和2年2月にいち早く同意すると回答した。町も非常に必要性を感じている。来年度、町の「環境基本計画」を見直す。基本計画の中で地球温暖化対策の推進を自治体としてもやらなければいけない。方向性を明

らかにしていきたい。

**問** ナラ枯れとクマの出没は大いに因果関係がある。県との情報交換、市民参加型の対策を目的としたマネジメントの出発点とすべきが提案の趣旨。

**町長** 松枯れ・ナラ枯れ・ツキノワグマ対策をセットにした協議会の設置をすべきでは。

換も必要。

協議会の必要性は承知した。

**問** 町は、千曲川水系に習い天竜川流域治水市町村の連携強化を目的として、7月川の日と、8月山の日

に、一斉花火大会等イベント提案の主体になるべきでは。

**町長** 提案は、川に親しむと言う意味も含め必要だと感じる。

**問** 海洋マイクログラ

スチックが問題になっている。家庭排水は農

業用水に直結している

ので、排水の垂れ流しの実態を明らかにすべき。補助金十萬円の「二律」を見直すべきでは。

**町長** 昭和62年に雑排水等規制に関する条例を制定。条例施行日前の建物は垂れ流し、処理されていないのが現実の問題。町の下水道

接続率は90%台だが、70%台の下古田等、区ごとバラつきがある。下水道接続の誘導策が補助金であるとすれば考えていきたい。予算の中で検討する。

その他の質問

- 産廃不法処理疑惑地に町の対応を
- 土砂崩落指摘箇所
- 県森林税活用事例から町の課題を
- 屋敷林倒木、不法行為責任への備えを

# 全国に先がけて 20人規模学級を

## 教育団体と共に強く要望していく



松本 五郎 議員

一般質問

### 「じてんしゃルールブック」の活用を

**問** 国の制度は40人学級で、長野県は30人規模学級です。コロナ感染症対策で、国は1mの距離間隔を推奨している。しかし一教室に40人近くの人数になると矛盾が生ずる。この事態は国が学校規模を変えないところに無理があり地方の責任ではない。

令和2年度の調査分析では自分で考え取り組む学習習慣に係わる項目で小中ともに16〜20人規模学級の子どもの割合が高くなっている。30人規模学級を実現した長野県として全国に先がけて20人規模学級実現のために、県・国に地域の声をあげていくべきでは。

**教育長** 上伊那教育7団体と共に強く要望を続けていく。

**問** 県では小学生低学年向け「じてんしゃルールブック」を発行している。現在の状況は未就学児から小学生は遊びやスポーツ等で自転車を活用しているため、ルールとマナーの実践定着に向けた活用が必要と考えられる。県でも保護者は一読くださいとあるのでルールブックを活用して児童と一緒に年一回は保護者を含めた指導をするべきでは。

**教育長** 重ねて指導することが大事と思うので、児童・保護者への啓発を重ねます。



自転車通学の中学生

### 太陽光発電施設、規制条例の制定を

近隣町村でも条例化している。当町も規制条例の制定を。

**問** 現在のガイドラインは、物事を判断する道しるべのため効力がない。

**町長** 現時点ではガイドラインで運用できると思っている。



町のあちこちで見られる太陽光パネル

### 保険義務化し掛け金、公費負担実施を

**問** 自転車には免許制度がないため小さな子どもから乗ることができ、事故の状況によっては加害者になりその責任は重い。当町も小学生を対象に自転車損害賠償保険等の義務付けと掛け金の公費負担の実施を。

**町長** 小中学生の公費負担をする。



小出嶋 文雄 議員

# コロナ禍での 新年度予算編成方針

## 我慢の年という認識で選択と集中

**問** 新型コロナウイルスの感染が拡大し、日常生活、地域の経済にも大きな影響を及ぼしている中で、町の来年度の当初予算編成の基本的な考えは。

**町長** 歳入歳出ともに極めて厳しい。一般財源の減少は避けられず町税は4億2千万円の減少する見込み。歳出

では、経常的経費が財政を圧迫する構造になる。そんな中でも新型コロナウイルスの感染防止、地域経済の早期回復、消費喚起、新しい生活様式の対応が必要。予算組みの中で、子育て支援、教育施策、福祉医療、産業など住民生活に直結したものは大きな変動は行わない。

大型事業の木下保育園建設、町民体育館、武道館の改修、社会福祉総合センターの解体後の複合施設、博物館の改修やグループホームの計画なども検討する必要はある。事務事業、補助金の見直しを行い、10%カット、5%カットなど全体としてやらざるを得ない。

**問** 各区分公民館に設置するWi-Fi設備の活用と個人宅への設置補助は。

**町長** 災害時の避難所での活用、区との通信手段など広く活用していく。

### 防災情報伝達方法の周知を

**問** 音声告知放送がなくなった後、町民への情報伝達方法の周知と、情報の取り方の講習会、体験の場を作るべきであり、特に高齢者への対応は十分すべき。

ン対応の新たな防災アプリも2月ころ完成する。完成したら、操作の方法、防災情報の取得の方法の伝達、操作の体験を色々な機会を通じて行っていく。



もみじちゃんメールによる防災情報の受信

**町長** 防災情報は、もみじちゃんメールや複数のSNSで取得、伝達でき、スマートフォ

### 公民館へ設置するWi-Fiの活用は

**教育長** 校外学習、公民館活動に活用できる。Wi-Fi環境のない小中学生の家庭には、ルーターを貸出す。

### その他の質問

● 認知症防止のためコロナ禍でのふれあいサロン、いきいき塾など実施は旧おごち保育園跡地の利用は

# 直売所の名称とオープン時期は

## 「ファームテラスみのわ」 4月3日オープン(予定)



荻原 省三 議員

**問** みのわテラスの現在の進捗状況は。

**町長** 店舗引き渡しは2月、全工事終了は3月末予定。名称は「ファームテラスみのわ」、オープンは4月3日(土)を予定としている。

**木下北・南保育園の跡施設利用は**

**問** 統合を控える木下北・南保育園の跡施設利用で、地域住民の要望は。

**町長** 両保育園とも新耐震以前の建物で老朽化の問題があり、業者からは解体を勧められている。通常では住宅地、児童公園、集会施設も考えられるが、基本的

一般質問



みのわテラス、工事中の直売所

**箕輪町料飲組合との懇談を受けて**

**問** 料飲組合からは追加支援や町内の飲食もして欲しいと声があった。

**町長** コロナ禍における飲食店、小売業の皆さんの苦労は重々承知している。経済・社会活動という意味で感染

状況が収まる状況になれば、町内で外食を勧めるメッセージの発信はやぶさかではない。事業継続を進める支援策などは今研究している。



閑散とした通り

に町は施設を持ちたくないと思っているため、具体的な要望があれば相談をして欲しい。

**災害時に応用できる太陽光発電を**

**問** 自宅の屋根ソーラーへの補助金を無くしたが積極的に推進すべきでは。

**町長** 補助金を無くしたから消極的ではない

い。箕輪町は県の「信州屋根ソーラーポテンシャルマップ」によると、非常に活用できる場所になっている。災害時にも対応できるの積極的な必要なPRはしたい。

**免許返納者、買い物弱者対策は**

**問** 以前の答弁の中で、デマンドタクシーや相乗り運行システム

の検討をするにあつたが、現在の進捗状況は。

**町長** 交通弱者対策として地域交通検討会を3回開催し、住民の利便性を高めるデマンドタクシー、乗り合いタクシーが提案された。令和3年度には実証実験をしたいと思う。みのちゃんバスのような巡回バスも残した方が利便性が落ちないという議論もある。



釜屋 美春 議員

# 第5次振興計画の 評価と今後は

## コロナ禍での移住定住見直しが必要



多目的施設建設予定地

### 「おくやみコーナー」設置を

**問** ご遺族は悲しみの中で各種の行政手続きを行わなければならぬ。「おくやみコーナー」（仮称）を設置してご遺族へ寄り添う支援をしてはどうか。また「ご遺族の手続きガイドブック」を作成してはどうか。

**町長** 現在はお遺族に必要な手続きを事前に調べご案内をしている。一度に手続きが済むよう、課の担当が窓口に出向いたり、必要な窓口にご案内している。「ご遺族の手続きガイドブック」は検討する。

**問** 箕輪町第5次振興計画事業のなかで

①若者のUターンを促す各種支援策の成果と課題は。  
②地域おこし協力隊は現在1人。他の市町村は7〜10人以上となっている。当町の今後の取組みは。  
③JA箕輪町

支所隣接に計画中の多目的施設の構想は。

**町長** ①若者世帯定住支援奨励金は昨年68件、今年は11月時点で65件と概ね予定どおり。課題は20代未満から20代の女性の転出の超過、大学卒業後のUターンが少ないこと。コロナ禍での移住定住施策の見直しが必要。  
②みのわたラス・ながた自然公園を核とした観光事業に1名。情

### シトラスリボン運動の推進を

**問** 新型コロナウイルスに感染した方や医療従事者に対する差別や偏見をなくす「シトラスリボン運動」の推進を。



**町長** 風評被害で傷つく人がないよう運動の啓発に努める。

報技術を使った関係人口増への情報発信に1名。「メゾンみんなのわ」を使い起業・移住施策に1名を募集する。  
③様々な団体へのアンケートでは学生の居場所、カフェ、会議室、トレーニングルーム、図書館的な機能を望む声がある。今後地元区や福祉・商工関係団体とも意見交換をしていく。町道6号線からのアクセス道路は近々施工する。

### その他の質問

- 自殺防止対策を
- 子どもにSDGsや差別をしない学びを
- 町民参加の「政策研究会」の推進を

# 町の施策、事業の成果とは

## 事業計画、予算書で重点実施



青木 俊夫 議員

今後の農業を担う若者



### 一般質問

**問** 町の主要な施策の成果について分かり易い「事業シート」を作成し、成果を報告書で町民の理解と共感を得ることが大切では。

**町長** 分野にもよりますが、昨年40項目ほど見直しを前提とした事業

成果、評価を実施。決算の段階で評価すべきと考える。提案にあった観光や農業など広範囲でなく、個別事業のまとめでないと行政の評価は難しいが考え方は理解できる。町民に理解してもらうには有効かと思う。

**問** 役場ロビースペースを活用し、来庁した町民が気楽に優しく分かり易い閲覧できる仕組みづくりも必要と考えるが、また、町長の公約にある「分かり易い住民向けの予算説明書を発行し、仕事と財政の見える化を進め

る」とあるが内容は。」とあるが内容は。  
**町長** 広報誌などで分かり易く説明するのが難しく、財政状況を示すまでに至っていないのが現状。財政や施策の見える化という意味でも来年度には実施したい。

## 農業の担い手不足に対する今後は

**問** 農業を維持して次世代に継承していく為の取り組みは。又インターン研修生の制度を活用し今後若手の外国人学生の受け入れをすべきでは。

り組むが十分ではない。援農の検討も制度設計がうまく行かないのも実態。外国人労働者の活用も含め、仕組みづくりが必要な段階に来ている。

用していただくことが大切。付加価値販売、加工販売等、生産者の多様な担い手の夢を実現でき、農業振興の基幹施設にしたい。

**問** 農産物直売所の今後に期待することは。

### その他の質問

● 農地バンクの活用、集約化の現状は

● 転作奨励で有益な提案を示しては

● 機械化を含めスマート農業の支援策

**町長** 新規就農者の確保、農業機械等導入事業補助金などに取

**副町長** 学校給食等含めて地産地消、農ある暮らしの拠点、更に観光で町内外の人に利



岡田 建二郎 議員

# コロナ禍での 業者支援の拡充を 幅広い支援の必要性を感じている

**問**

新型コロナウイルスの影響が長引く中、近隣市町村でも陽性者が確認され、業者の事業継続に大きな支障が出ている。①感染が確認された業者が休業した際の所得補償など、事業継続に向けた支援の制度化を。  
②町が委託している事業の中には、バスの運転代行業務など実績に

応じた委託業務もある。コロナ禍の下で利用の機会が著しく減少した業務については、損失補填などの財政支援が必要ではないか。

**町長**

①感染が確認された際、営業努力だけではどうにもならないこともある。国や県の制度でも交付金の対象にならない事例も想定

され、支援の必要性はあると思っている。

②町の所有するマイクロー・中型バスの運転代行業務は3月～6月は0回など、金額ベースで昨年度から7割ほど減少している。他にも文化センターの舞台管理など同様の影響が出ており支援に向けて検討する。



## 農産物直売所を地産地消の拠点に

**問**

①来年4月開業の新しい農産物直売所では、施設を管理する農協の組合員以外は出荷できないと聞いている。兼業農家や特色あ

る農家が広く出荷できるよう門戸を広げ、出荷者や関係者を増やすよう工夫を。

②農協が管理することで、町内の小中学校や保育園での給食食材の調達について、農家や営農組合などに直接的な営農指導が可能になる。町外や県外に頼っている食材について、町内での自給率を高められるよう積極的な営農指導を。



賑わうみのわテラス朝市



利用が大幅減少した町有バス

**町長**

①より多くの方に出荷していただくことが一番大事だと考えているが、商品の管理基準を考慮すると出荷者の制限はやむを得ない。施設周辺の公園で軽トラ市や朝市などを企画し、関係者の拡大を図りたい。  
②今回の施設整備を機に、農家・農協・町の連携で、学校給食の地産地消率をより一層向上させたい。

一般質問

# 新型コロナウイルスの感染対策は

## 感染拡大防止を前提に事業対策を



中村 政義 議員

一般質問

**問** 新型コロナウイルス対策及び対応は。

**町長** 第3波と言われる状況が県内でも起き、上伊那圏域でも大勢の方の感染が確認され大変厳しい状況。感染拡大防止と経済の両面で極めて有効な対策が見えない中で、町として新しい取り組みは難しいが、現時点では感染拡大防止を前提にして様々な事業対策を打っていききたい。

**問** 近隣市町村でも多くの感染者が確認された。町内に感染者が出た場合の対処は、また感染者をどう守っていくのか。

**町長** この問題については行政として住民の皆さんに繰り返しお願ひしていくほかない。人権に配慮した思いや

り、優しさのある行動を取ってもらえるよう呼び掛けていく。

**問** ながたの湯の平日利用割引は利用者の増加につながっているのか。

**町長** 割引開始7月以降利用者の確保ができ、一定の効果はあった。

**問** 飲食店への新たな支援は。

**町長** 全体として飲食店にかかわる問題については、方策を検討中で給付型は実施しないが類似の方策も含めて何かできないかを考えていく。

**問** 小中学校のコロナ禍対応、特に給食費への補助はできないものか。

**町長** 給食費の扱いをどうするかという問題は、他市町村の状況は全国的な状況を十分把握し課題は承知しているが、基本ベースは児童生徒が食べた給食を自己負担する事。しかしコロナ禍において保護者負担を軽減していく必要性はあり、春先2ヶ月間学校給食を町で負担した。学校現場は値上げをせずに頑張っている。そういった意味では何らかの支援を考える時期に来ている。

西小学校の給食



**問** 給食室の老朽化にともなう改修は。

**町長** 老朽化した施設についての改修は必要で、実施をさせていたきたい。



老朽化した西小学校の調理室

その他の質問

- 箕輪町健康づくり推進条例について
- 障がい者の支援について
- 箕輪町の環境等について





木村 英雄 議員

# 看多機利用者の負担軽減措置を

## できる限り軽減の方向で検討する

**問** 看護小規模多機能型居宅介護(看多機)は

地域包括ケアシステムの中心的な役割が期待されている。看護小規模多機能型居宅介護事業を始め、地域密着型介護サービスは箕輪町民のために運用される事業であり、より多くの町民が利用できるものでなければならぬが、宿泊費をはじめとする利用者負担はかなりの高額となつていく。経済的な理由だけで利用できないという

ことがあつてはならない。利用者の負担軽減のための助成措置を。

**町長** 宿泊費等の助成

については軽減の方向で検討する。他の制度への影響も大きい。新たに作つて利用を推奨していただきたい看護小規模多機能型居宅介護に、まず取り入れていくことが自然と思つている。近隣の例も参考にできる限りさせていただく。予算編成の中で検討する。



3月オープン予定の上伊那医療生協の看多機施設

一般質問

# 女性が暮らしやすい地域づくり

**問** 女性にとって住み

やすい、優しい町づくりのために女性の見を聞くことが重要である。地域社会では男性が表面に出ることが多いが優しさの町づくりのためには女性ならではの発想を生かすことが必要かつ有効であると考えるが。

**町長** 女性が暮らしやすい地域づくりに積極的に取り組んできたが、女性の転出を留めることに成果を上げていくかというところである。事業を評価する中でもう一度考えなければならぬ。

# 新興住宅地域のインフラ整備

**問** 新興住宅地域の道路整備などインフラ整備が遅れている。

に難しい。後追い行政ではあるが、制度的にやむを得ない状況でもある。

**町長** 必要な整備は遅ればせながら実施している。個々の住宅開発の場合はインフラ整備をどのように実施していくかは非常

### その他の質問

●人口減少社会に対し高齢者や子供にやさしい地域づくり



唐澤 敏 議員

# 長期化する コロナ禍への対応を 社会的弱者に目配りをしていく

一般質問

**問** コロナ禍における年末所見は。

**町長** 来年度以降、極めて厳しい財政運営が強いられる。アフターコロナを見据えた未来への投資を考え、予算編成に当たりたい。

**問** 長期化するコロナ禍のなか、医療機関等への応援金の追加支援は。

**町長** 長期戦が想定される状況下、国等の動向をみて考えていきたい。

**問** 地域経済の継続的状況把握を。

**町長** 新型コロナウイルスウィルス感染症経済連絡会を開催した。来年度の事業組み立てのためにも、関係者との打ち合わせや協議の

実施を検討する。

**問** 中小企業への広域的な産学官の支援体制づくりに取り組みないか。

**町長** 上伊那ワンストップハブを、伊那技術形成センターに設置する予定がある。雇用の確保やIT活用のビジネス展開などを、企業支援相談員の活動に取り込んでいきたい。

**問** 困窮家庭への食に係る支援を。



放課後子ども食堂（木下）

**町長** 子ども食堂については、充実の必要性を感じている。フードバンクのわについても、連携のなかで拡充していく仕組みを検討したい。

**問** 町外にいる学生の追加支援を。

**町長** 8月、315人に「もみじちゃんのおくりもの<sup>※</sup>」を発送した。コロナ禍が長期化しており、来年度に検討する。

※クオカードかお米ほか箕輪の特産品

## 子育て施策の充実

**問** 今後の子育て施策の見直しは。

**町長** 子育て施策の優位性について理解が進むような方策を考えた。

## ポストコロナの対応

**問** デジタル化社会構築に向けての推進施策を。

**町長** デジタル化への対応として、①行政手続きのオンライン化 ②行政業務の効率化 ③データ活用による地域課題の解決等が求められている。当面は、旧東部診療所の拠点活用やクラウドソーシングなどの人材育成にも取り組む。

## その他の質問

- 医療供給体制の確保状況について
- 地域経済や雇用環境について
- 生活困窮者への支援施策について
- 出生数や妊娠届等の状況について



寺平 秀行 議員

# 新型コロナ感染者の 人権どう守る

## 法的な問題は顧問弁護士を活用

**問** 感染者の相談体制はどうなっているのか。必要に応じて弁護士が対応する体制にしたらどうか。

る恐れも否定できず、警戒が必要だ。自殺予防についてどのように取り組んでいくのか。

**町長** 感染者の人権を守るために当町においても今後相談窓口の設置は必要と思う。法的な問題は町の顧問弁護士にお願いする。

**問** 全国的に女性の自殺が急増している。当町でも今後急増に転ず

**町長** 自殺予防対策連絡会があるので特に働き盛りに関わる啓発を進めたい。ゲートキーパー養成講座を実施しているので受講された皆さんと相談体制を組んでいきたい。相談窓口で個別に対応していきたい。

### 若者の雇用をどう守る

**問** 有効求人倍率が上伊那地域が県内で最も低いことが示された。若者の雇用に何らかの影響が出ていると仮定して対策が必要。若者の採用・育成に積極的な企業を、町を挙げて盛り上げていくしかな

い。若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を若者雇用促進法に基づいて厚生労働大臣が認定する「ユースエール認定」がある。町として推進しては。

**町長** 若者を採用する意欲のある企業をユースエール認定といった制度に乗せることは必要だと思うので、相談員が中小企業を回る中でPRしたい。



**出生数急減、小学校は維持できるか**

**問** 今年度の出生見込みは140人。町内5つの小学校は維持できるのか。

**教育長** 令和8年までは中部小3学級、北小2学級、南、東、西各小1学級は維持できる見込み。今年の出生状況が続けば複式学級等の対策を講じていかなければならない。

### その他の質問

- 障がい者を支える家族や幼児の親が感染した場合の支援策
- 木下新保育園の交通対策
- 来年度からの観光プランの取り組み

# わが町の将来をかたる

多団体と  
意見交換



## テーマ1

### 議員のなり手不足と定数について

### なり手不足は共通課題、世代間継承に危機感

議会活動活性化委員会主催の意見交換会が地域交流センターで区長会の皆さんと、役場講堂で町の皆さん(商工会・JA上伊那・みのわ営農・町農業委・町民生児童委・町消防団正副分団長会・井戸端会議・町保育園保護者会・町小中PTA連の各代表21名)と行なわれました。

なり手不足に関しては議員ばかりでなく各団体共通の課題であり、主体的に解決策を見つける事が大切との提言がありました。また、世代間継承が深刻であるとの危機感を共有しました。(写真提供:みのわ新聞社)

11/5 木



区長会との意見交換会

11/11 水



箕輪町の皆さんとの意見交換会

## テーマ2

### コロナ禍の飲食店の現状について

### コロナが発生したら廃業覚悟も

箕輪町料飲組合と町文化センターで意見交換会を開催。主催は総務産業常任委員会。「コロナ発生以来売り上げ減少」「自店でコロナが発生したら廃業も覚悟」「店ごとに出来る限りの感染防止対策を十分している」「町の支援具体化を」などの現状説明や町への要望が出されました。

12月定例会の一般質問では町に対応を求める議員も多数。質問の内容については、本誌「補正予算」や「町政を問う」をご一読ください。

11/18 水



箕輪町料飲組合の皆さんとの意見交換会

### 財産区議会議員の選出

### 国へ意見書提出、町へ要望書

## 改正公選法により供託金発生



白鳥町長⑥に要望書を手渡す  
荻原委員長④と金澤副委員長  
写真提供:みのわ新聞社

町議会総務産業常任委員会は12月14日(土)「各区の財産区について助言・指導する事を求める要望書」を白鳥政徳町長に提出。改正公職選挙法で財産区議会議員選挙に供託金制度が適用になり、選挙による選出が深刻化することが懸念される中、各区が新制度を理解し、議員選出の在り方等主体的に考える事ができるよう、町が積極的に助言・指導するよう求めた。

改正公選法は、財産区議会議員選挙の立候補に供託金15万円が必要に。区長会からの陳情「供託金制度の適用除外を求める意見書提出」を12月町議会定例会で採択。内閣総理大臣と総務大臣に宛てた。常任委員会による要望書は、陳情審議の中で合わせて必要と判断した。

議会だよりに関するご意見がありましたらお寄せください。

### 役場議会事務局

電話 79-3111 内線 311

メールアドレス gikai@town.minowa.lg.jp

### 議会広報特別委員会

委員長 松本五郎  
副委員長 釜屋美春

委員 金澤幸宣  
委員 中澤千夏志  
委員 中村政義